

令和5年度

入 学 試 験 問 題

帰 国 生

国 語

- 1 問題用紙は かんとくしゃ 監督者の指示があるまでは開いてはいけません。
- 2 開始のチャイムが鳴ったら、最初に問題用紙と解答用紙に受験番号と氏名を記入して下さい。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。
- 4 記述で答える問題は、特に指定のない場合、句 く 読点 どうてん や 符号 ふごう は一字として数えるものとします。
- 5 問題は1ページから16ページまであります。

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	--------------------------------	--

森村学園中等部

一 次の①ゝ⑧の――部のカタカナを漢字になおし、⑨ゝ⑫の――部の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

① 母のシンロウを思うと気がでない。

② 器械タイソウの大会に出場する。

③ 荷物を宅配便でトドける。

④ 川のゲンリユウをたどる。

⑤ 絵をテンラン会に出品する。

⑥ シンミツな交際を続ける。

⑦ 一日センシュウの思いで待つ。

⑧ キチヨウな文化財を守る。

⑨ 一歩も退くことなく敵に立ち向かう。

⑩ はじめも外聞もない行動をとる。

⑪ 金輪際あなたとは会いたくない。

⑫ 一念発起して会社を始めた。

三 あとの問いにそれぞれ答えなさい。

問一 次にあげた各文の下の（ ）の働きをしている語句として、最も適当なものを次のア、イ、エの中から選び、記号で答えなさい。

- ① ア つくし野駅の イ すぐ 近くに ウ 森村学園が エ ある。 (主語)
- ② ア 肉食動物は イ 草食動物を ウ 食べる エ 生きる。 (述語)
- ③ ア はい。 イ 私は ウ 最後まで エ 走り続けるつもりです。 (修飾語)

問二 次の漢字を四つ組み合わせて四字熟語を三つ作ると、一つだけあまる字があります。それはどの字ですか。答えなさい。

- ① 異 因 音 果 言 口 行 応 実 同 不 武 報
- ② 一 三 四 八 九 十 千 万 温 化 寒 中 変

問三 次のA群の言葉とB群の言葉から一つずつ組み合わせ、慣用句を四つ作ると、組み合わせることができない言葉がA群とB群それぞれに一つずつあります。それはどの言葉ですか。答えなさい。

① A群

顔を
口を
腕を^{うで}
胸を
足を

B群

売る
買われる
張る
さそう
洗う

② A群

反りが
腹が
間が
虫が
目先が

B群

ある
合わない
いい
すわる
悪い

問四 次の文の主語に合うように、――を適当な敬語に直して答えなさい。

① 校長先生が私の作品を見た。

② 明日の朝、私の父がお宅に行きます。

③ 社長が下さったフルーツを食べようと思います。

問五 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一匹^{いっぴき}のでんでん虫がありました。

ある日、そのでんでん虫は、^㉔大変なことに気がつきました。

「わたしは今までうっかりしていたけれど、わたしの背中^{から}の殻の中には悲しみがいっぱい詰まっているではないか」
この悲しみはどうしたらよいのでしょうか。

でんでん虫は、お友達^{とも}のでんでん虫の所にやって行きました。

「わたしはもう、生きてはいられません」

と、そのでんでん虫はお友達に言いました。

「何ですか」

と^Aお友達^{とも}のでんでん虫は聞きました。

「わたしは何と言う不幸せなも^Aの^アでしょう。わたしの背中^{から}の殻の中には、悲しみがいっぱい詰まっている^イのです^イ」
と、はじめのでんでん虫が話しました。

すると、お友達^{とも}のでんでん虫は言いました。

「^Bあなたばかりではありません。わたしの背中にも悲しみはいっぱいです」

それじゃ仕方ないと思って、はじめのでんでん虫は、別のお友達^{とも}の所へ行きました。
するとそのお友達も言いました。

「あなたばかりじゃありません。わたし^ウの^ウ背中にも悲しみはいっぱいです」

そこで、はじめのでんでん虫は、また別のお友達^{とも}の所へ行きました。

こうして、お友達^{とも}を順々に訪ねて行きましたが、^Iお友達も、同じことを言うのでありました。

^{II}、はじめのでんでん虫は^㉕気がつきました。

「悲しみは、^{だれ}誰でも持っているのだ。わたしばかりではないのだ。わたしは、わたしの悲しみをC こらえて行かなきゃならない」
そして、このでんでん虫はもう、^{なげ}嘆くEのをやめたのであります。

(新美南吉 ^{にい みなきち} 『デンデンムシノ カナシミ』より)

① ——— A 「お友達のでんでん虫」の「の」と言葉の決まりの上で同じ使い方のものを本文中の ——— ア、エから選び、記号で答えなさい。

ア 不幸せなものでしょう イ 詰まっているのです ウ わたしの背中 エ ^{なげ}嘆くのをやめた

② ——— B 「あなたばかりではありません」の「ばかり」と言葉の決まりの上で同じ使い方のものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 焼き上がったばかりのパンを食べる。

イ 休日の父は寝^ねてばかりいる。

ウ 彼は^{かれ}コーヒーばかりか、紅茶も飲まない。

エ ここへ来て三年ばかりが過ぎた。

③

I	・	II
---	---	----

 に当てはまる語として、最も適当なものをそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。

I

 ア この イ その ウ あ エ どの

II

 ア とうとう イ すぐに ウ やはり エ 当然

④ ——— C 「こらえて行かなきゃならない」で用いられている「ない」について、言葉の決まりの上で同じ使い方のものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 少ないチャンスを生かして勝利する。

イ 彼の失敗を笑うことはできない。

ウ なぐさめられても、うれしくない。

エ 今日は放課後に習い事がない日だ。

⑤ ~~~~~ a 「大変なことに気がつきました」・ b 「気がつきました」とありますが、それぞれの部分で「でんでん虫」が気がついたこととはどのようなことですか。「前者では、○○○ことに気がつき、後者では、□□□ことに気がついた。」という形で説明しなさい。

問六 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

雨にも負けず

風にも負けず

雪にも夏の暑さにも負けぬ

丈夫な体を持ち

欲は無く

決して怒らず

いつも静かに笑っている

一日に玄米四合と

味噌と少しの野菜を食べ

A あらゆることを

自分を勘定に入れずに

よく見聞きしわかり

そして忘れず

野原の松の林の陰の

小さな萱ぶきの小屋にいて

東に病気の子供あれば

行つて看病してやり

西に疲れた母あれば

行つてその稲の束を負い

南に死にそうな人あれば

行つて怖がらなくてもいいと言い

北に喧嘩や訴訟があれば

つまらないからやめろと言い

B 日照りの時は涙を流し

寒さの【@】はおろおろ歩き

みんなにでくのぼーと呼ばれ

褒められもせず

苦にもされず

C そういうものに

わたしはなりたい

(注)

*勘定……よく考え合わせること。

*でくのぼー……役に立たない人。

① — A 「あらゆることを／自分を勘定かんじょうに入れずに」とありますが、これは結局どういうことですか。同じ内容を簡潔に表現している部分を本文中から一行で探し、ぬき出して答えなさい。

② — B 「日照りの時は涙なみだを流し／寒さの【a】はおろおろ歩き」の二行は、同じ季節を話題にしている、【a】にはその季節が入ります。それは春夏秋冬のうちどれですか。漢字一字で答えなさい。

③ — C 「そういうものに／わたしはなりたいたい」について、作者は「なりたいたい」としてさまざまな事柄ことごとをあげています。この詩の中で作者があげている事柄として適当でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 食べ物のこと イ 衣服のこと ウ 住む場所のこと エ 言動のこと

④ この詩の作者は、「注文の多い料理店」「銀河鉄道の夜」などを書いた大正時代の童話作家です。この作家を次から選び、記号で答えなさい。

ア 夏目漱石 イ 芥川龍之介 ウ 宮沢賢治 エ 太宰治

【三】 次の文章Ⅰ・文章Ⅱを読んで、あとの問いに答えなさい。

文章Ⅰ 次の文章は、「コミュニティ（人々の集まりのこと）のあり方について書かれたものです。

大きなヒントになるのが、京都大学・こころの未来研究センター教授で、公共政策や科学哲学の専門家である広井良典さんの『人口減少社会のデザイン』（東洋経済新報社、二〇一九年）という本です。広井さんはこの本の中で、コミュニティを「都市型コミュニティ」と「農村型コミュニティ」という二つの類型に分けて解説しています。前者は、組織や地縁に縛られず、あくまで個人をベースにつながり合うもの。後者は地縁的・共同体的な一体意識によって成り立ち、集団の中に個人が埋め込まれるようなものであり、この二つは、対立する概念ではなく、相互補完的なものだといいます。そしてそのうえで、都市部の人たちにとっても、地方で暮らす人たちにとっても、集団を超えて人がつながる①「都市型コミュニティ」を作っていくことが、人々の孤独を和らげ、自分にふさわしい「居場所」を作っていくことにつながるのではないかという論を展開しています。

「農村型コミュニティ」は、その同質性ゆえに②強固な結束をもたらすけれど、自分たちの組織を外敵から守ろうとするため、*排他性も生まれてしまう。中に入ってしまうえば心強いが、異物は排除され、

Ⅰ

がち。コミュニティのベクトルが内に向いてしまうから、風通しも悪くなりやすい。一方で、「都市型コミュニティ」は、同質性ではなく、自分の趣味や興味関心、あるいはスキルや能力など、あくまで個人にあるものからつながるコミュニティ。基本にあるのは、多様な「個人」です。

（中略）

広井さんは「集団を超えて個人と個人がつながるような関係性をいかに育てていくかが日本社会の最大の課題である」とも語っています。これらの説明は多くの実感とも重なる部分が多くあります。

（中略）

ただ、農村的か都市的かというコミュニティの「腑分け」では十分ではないようにも思います。ここ数年、ぼくは障害福祉に関わるようになりました。そこでぼくは、コミュニティには、スキルや能力でつながって何かに向き合う、目的遂行型の「やるコミュニティ」と、だれもがいたいようにいられ、存在することが許される「いるコミュニティ」のふたつがあるのではないかと感じるようになりました。（中略）

二〇一九年、ぼくは、静岡県浜松市にある認定NPO法人クリエイティブサポートレッツの事業所に月に一度通って、そこで送ら

れる日々を部外者の目線で書き綴るといふ仕事をしていました。レッツは、音楽やアートなどさまざまな表現活動を通じて、重い障害があるとしても、その人がその人らしくいられる場づくりを続けています。特徴的なのが、そこで過ごす時間です。多くの障害者施設が、何らかの作業を行ったり、カリキュラムやトレーニングの時間を設けるなか、レッツはそうした時間を作っていません。昼寝したければ昼寝してもいい、絵を描きたければ描いてもいい。ぼくたち訪問者も、特別な何かをしなくてもいい。だれもが「いたいようにいい」という場を、スタッフの試行錯誤とともに構築しています。

ぼくは、レッツの活動への参画を通じて、ぼくたちが、普段からいかに「目的」や「成果」のようなものに縛られていたかに気づきました。ぼくたちは、いたいようにいてはダメな社会に生きています。会社に行けば稼がねばならないし、無駄な時間を過ごしてはならない。やるからには目的と意思を持って行い、必ず成果を出す。それが当たり前だと思って日々を過ごしています。家でも同じです。

あ 朝はテンポよく家事や育児をやらなければなりませんし、モノはあった場所にしまい、常に清潔にしていなければなりません。自宅ですら、自分のいたいようにはいられないわけです。

もはや当たり前になりすぎて深々と考えたりもしないけれど、ぼくたちはあまりにも無自覚に、生産性とか経済性とか、結果とか責任とかを持ち出していないだろうか、それって本当にいいのかな、と思うのです。よくよく考えると、そうやって*盲目的に貨幣経済に組み込まれてしまっているのではないか。

い レッツの「ただ、自分がいたいようにいいよ」というメッセージが、③当たり前の常識を溶かしてくれたのかもしれない。レッツに行くと、自分という存在をただただシンプルに受け止めてもらっているような気がして居心地がいいんです。

そうしてレッツに一年間通い続けてみると、世の中には「やる」場、「やる」コミュニティばかりだなあ、世知辛いなあ、と感じるようになりました。才能やスキルを発揮し、何かの課題解決に取り組む。それはすばらしいことです。

う やる気のな

い人はいて欲しくないし、スキルがない人にも来て欲しくない。やるからには効率を求めたいし、生産性や経済性も求めたくなる。何かをやるからこそ、人と人がチームを作るわけです。デザイナーやライター、エディターやフォトグラファーが一冊の本を作るように、それぞれがスキルを発揮して、いいものを作っていく。けれど、多様な人たちが集まったはずなのに、いつの間にかコミュニティ全体が「目的遂行型」になってしまい、その目的から外れる人たちを排除したくなってしまう。やるコミュニティは、多様に見えるけれど、実は「排他性」を孕んでいるわけです。

そもそも人って何もしなくたっていいし、何もせずそこにいていいはずですよ。その人がそこにいること、それが決定的に重要です。そこにいていい。存在していい。そうやって生存する権利があるはずなんです。

え

それを認めていくのが「いるコミ

ュニティ」です。レッツはまさに「いる」コミュニティだと感じました。「いる」ことが大事。何かをしてもいいしなくてもいい。ただいること、存在することを受け入れるわけです。だれもが排除されない。そうした④「いる」場や「いる」コミュニティは、「やる」ことに疲れた多くの現代人にとって、大きな癒やしをもたらしてくれるものになるのではないのでしょうか。（中略）

これからの地域には、集団を超えて人と人がつながる「都市型コミュニティ」だけでなく、⑤無目的な「いるコミュニティ／いる場」も必要だということです。

（小松理虔『地方を生きる』より）

文章Ⅱ 次の文章は文章Ⅰの筆者である小松理虔さんが「クリエイティブサポートレッツ」に訪れた際のことを書いた文章である。

8月。レッツ観光は通算10日目となった。（中略）

しばらくボートとしていると、レッツのスタッフの佐藤さんが「リケンさん、屋上で水浴びしましょう」と誘ってくれた。（中略）建物の裏手にある外階段を上がっていくと、3階の手前の踊り場で、リョウガくんと太田くんが待っていた。リョウガ君はすでにゴーグルと水泳キャップを装着していて準備万端。⑦言葉ではいわないけれど、すごく楽しみにしているようだ。そりゃそうだよな、ほんと暑いもの！ 佐藤さんがタケちゃんを連れて来た。5人全員でドタドタと階段を上がって屋上に向かうと、水色の四角い桶の中にはすでにたつぷりと水が張られていた。

太田くんもリョウガくんも、心待ちにしていた冷たい水に体を入れていく。ひゃあああ、気持ちよさそうだ。気持ちがいいときは言葉にしなくてもすぐわかる。めっちゃいい顔してるもの。いやあ、みんないい顔をして水浴びしてるなあと、ひとしきりバシャバシャ写真を撮って、それでふとうしろを振り返ると、遊びに飽きたのか、①たけちゃんはもう下の部屋に戻っていて、②佐藤さんが一番いい顔をしながら水に浸かっていた。どんだけいい顔してるんだ。

「いやあ、最高ですよ。これでもちゃんと仕事してるんですから」

佐藤さんは、顔にバシバシシャツと水をかけ、あああああああといながら、体をさらに深く水に沈めていく。㊦ なんだこの空間は……。 (中略)

ぼくは、水を張った桶に足を突っ込みながら考えていた。具体的に「こう支援してくれ」と言葉で説明できない人たちに対する支援とはなんだろうと。その基本は、やはりいっしょに「いる」ということなんだろう。そして、その「いる」に、レッツの場合は*そこはかとなく「いたいように」という言葉が加わる。つまり、レッツの支援の根本は、「その人がいたいようにいることを支える」ということだ。

では、その人はどのように「たい」のか。それがわからない。確認のしようがないのだ。利用者の多くは、自分で自分の希望を話すことができない。だから、その「たい」の方向性を探るということを、レッツのスタッフは日々繰り返している。いうなれば「たい支援」。その人はなにが心地よいと感じるのか、その人はどこにこだわりを持っているのか。どのようなとき、なにがしたくなるのか。なにかがしたいとき、どのような表情や動きをするのか。それを観察しながら、いつも「たい」の方向性を決めている。スタッフみんなでだ。

けれども、その「たい支援」は、蓄積された福祉学の知、というようなものから探るのではなくて、そのときどきの、「こんなときはきつとこれがしたいよな?」という、ごくごくふつうの感性と共感からはじまっている。マニュアルは使わない。正解もない。探るときの手がかりは、自分の想像力しかない。プールで遊んでいる佐藤さんは、そういうやりとりを心から楽しんでいるように見えた。その姿は、支援者として支援するというのではなく、なんというか、もっとシンプルな、目のまえの人といっしょに、遊ぶ、ただそれだけという感じ。それは潔く、そして心地よかった。その人いることを、心から肯定して、楽しんでいるように見えたからだ。

(小松理虔『ただそこにいる人たち——小松理虔さん「表現未満」の旅』より)

※問題作成の都合上、文章の一部を省略したところがあります。

(注)

*相互補完……互いに補って、全体として不足のないようにすること。

*排他性……他のものを受け入れずに、しりぞけようとする性質のこと。

*盲目的……理性を失い、適切な判断ができず、やみくもであるさま。

*そこはかたなく……なんとなくはつきりしないこと。

問一——①『都市型コミュニティ』とありますが、これはどのようなコミュニティのことですか。その説明として最も適当なもの

のを次から選び、記号で答えなさい。

ア 生まれた家柄いえがらに関係なく、同じ価値観や能力を持つ人同士で集まって、それ以外の人とは交流しないコミュニティ。

イ 地域の顔なじみの関係ではなく、大都市などで、会ったことのない相手とネットを利用してつながるコミュニティ。

ウ さまざまな趣味しゅみを持った多様な人々が、所属している集団にとらわれずに同じ空間で存在するだけのコミュニティ。

エ 好きなことや得意なことを共有する人々がそれらを通じて、住んでいる地域を超えて交流するようなコミュニティ。

問二——②「強固な結束」とありますが、この農村型コミュニティが持つ「強固な結束」の具体例として適当でないものを次から

一つ選び、記号で答えなさい。

ア 古くから地域に根付く中小企業ちゅうしょうせいきぎょうでは、地元の人々からの厚い支援しえんのおかげで、コロナ禍かの経済不況けいざいふきょうでも業績をのばしている。

イ 同じ集落の住民が亡くなったときには、昔からのしきたりを守りながら、集落の人が皆でその人のお葬式そうしきの手伝いを行っている。

ウ 過疎化が進む村では農家経営における人手不足解消のために、農業に関心のある若者や外国人を招いてその問題を解決している。

エ 町で大きな災害が起こったときには、町の人が所属する消防団によって被災者ひさいしゃの救助を行い、おたがいに助け合っている。

問三

I

には、「農村型コミュニティ」の特徴を表す、あることわざを用いた表現が入ります。この部分に入る言葉として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 石橋をたたいて渡り イ 出る杭は打たれ ウ 長いものには巻かれ エ 目から鼻へ抜け

問四

③「当たり前の常識」とありますが、ここで述べられている「常識」を表す具体的事例として適当でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア サキはマンガを描くことが好きなので、放課後に同じ趣味を持つ友達と集まり、それぞれ好きなマンガを描いてお互いに見せ合って楽しんでいる。

- イ ミクは、第一志望の中学校への合格を目指し、塾のクラスメイト同士でお互いに得意な教科を教え合いながら、受験勉強に力を入れている。

- ウ ナツミのクラスでは、学芸会でのクラスの出し物の成功に向け、台本や大道具などそれぞれのグループに分かれ、意見を出し合って準備を進めている。

- エ ハルキは、家の中で家族の一員としての自覚を持ち、ゴミ捨てや風呂そうじなどの家事の手伝いを担当して、それらを効率的に行えるよう工夫をしている。

問五

文章Iには、次の一文が抜けています。この文は文中の あ } え のどこに入るのが最も適当ですか。記号で答えなさい。

けれど、そうやって何かのために動いていけば、その目的から外れる人たちを排除してしまう。

問六

④『「いる」場や『いる』コミュニティは、『やる』ことに疲れた多くの現代人にとって、大きな癒やしをもたらしてくれるものになるのではないだろうか』とありますが、それはなぜですか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 現代人は目的や責任にしばられており、「やる」ことに追われて生きづらさを感じる人が多いが、「いる」コミュニティでは、その人がそこに好きなようにいるだけで、そのコミュニティに受け入れてもらえるので心が落ち着くから。

イ 現代人は社会の中で盲目的に仕事を「やる」ため、仕事に意味を見出すことができないが、「いる」コミュニティでは、すべての人にとって居心地のよい場所を作るという目的があるために自分の仕事が生産的になって充実するから。

ウ 現代人は自分自身のスキルを発揮する場所にあまり恵まれていないため孤独を感じることが多いが、「いる」コミュニティでは、どんなスキルでも発揮することができ、だれでも受け入れてくれるので安心感を覚えるから。

エ 現代人は社会の中で望まない仕事でも「やら」ねばならないために世知辛さを感じることも多いが、「いる」コミュニティでは、それぞれの人が他人に無関心で、なにをやっても文句を言われないため気楽に過ごせるから。

問七

⑤「無目的な『いるコミュニティ／いる場』も必要だということです」とありますが、これは筆者が文中で挙げる「農村型コミュニティ」・「都市型コミュニティ」・『やる』コミュニティという三つのコミュニティと『いる』コミュニティとの間に大きな違いがあるからです。では、それらはどのように異なりますか。以下の（ ）に入る言葉を十字以上二十字以内でまとめて答えなさい。

「農村型コミュニティ」・「都市型コミュニティ」・『やる』コミュニティは共通して（ ）という性質があり、その点において『「いる」コミュニティ』と異なる。

問八 次の文は、――㉞から――㉟の記述について、説明したものです。その説明として適当でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ―――㉞「言葉ではいわないけれど、すごく楽しみにしているようだ」という文では、筆者自身も想像力を働かせてレッツの入居者のことを理解しようとする様子が描^{えが}かれている。

イ ―――㉟「たけちゃんはどう下の部屋に戻^{もど}っていて」という描写^{びようしや}では、タケちゃんの自由な姿が描かれ、「いたいようにいる」
過ぎしが、具体的に読み取れる。

ウ ―――㊦「佐藤さんが一番いい顔をしながら水に浸^つかっていた」とあるが、これはレッツの職員も入居者と同じように「いた
いように」過ぎしながら支援をしている様子が示されている。

エ ―――㊧「なんだこの空間は……」という言葉では、筆者がレッツの空間で起こっている出来事から取り残され、気まずさを
感じたことが率直に表現されている。

問九 文章Ⅰで述べられている「いるコミュニティ」における支援を行うために、筆者はどのようなことが重要だと考えていますか。
文章Ⅱを参考にして五十文字以上六十文字以内で説明しなさい。